

平成31年度広島市立広島特別支援学校第1回学校協力者会議概要

1 日 時 平成31年7月16日(火) (10:00~11:30)

2 場 所 広島市立広島特別支援学校 校長室

3 内 容

- (1) 学校長挨拶
- (2) 配付資料確認
- (3) 運営規程説明
- (4) 委員・学校事務局員紹介
- (5) 委員長・副委員長の選出 所属部会の決定、部会長の選出
 - ア 委員長 江上 正明氏(元広島市立山田小学校長)
 - イ 副委員長 林 武広氏(比治山大学現代文化学部子ども発達教育学科教授)
- (6) 委員長挨拶
- (7) 協議
 - ア 学校の現状についての説明
 - ① 学校経営方針
 - ・ 来年度に向けて、小学部、中学部、高等部一貫した学びの連続性のある教育の推進。
 - ・ 主体的・対話的で深い学びを目指し、思考を支えることばの力を育むための授業づくりを行っていく。
 - ・ 公開研究においても、ことばを中心とした授業を取り組んでいきたい。
 - ② 児童生徒、教職員の状況
 - ・ 小学部161名、中学部116名、高等部283名、合計560名、110学級でスタートした。医療的ケアを必要とする児童生徒が増えているため、9名の看護師を必要としているが、現在8名。多方面にお願いしているが、難しい状況である。
 - ③ 進路状況について
 - ・ 高等部卒業生85名中32名が企業就労(38%)している。今後とも丁寧な進路指導を進めていく。
 - ④ その他
 - ・ 出島町内会の皆様に本年度も3台のiPadを寄贈していただくことになっている。日々の授業実践で有効に活用していきたい。
 - ・ 働き方改革として、水曜日は定時退校日とし、音楽をかけて退校を促すことを始めている。教材・教具を共有化することに取り組むことも時間削減につながると考えている。
 - ・ 来年度、中国・四国地区特別支援学校知的障害者校PTA連合会研究協議会が本校で開かれる。PTAのアトラクションとして、PTAコーラスを立ち上げ発表したいと考えている。
 - ・ 7月30日から8月4日において、特別支援学校美術・工芸展が開かれる。県内17校の特別支援学校の児童生徒の作品を広島県立美術館で展示することになっている。
 - イ 意見交換、提言等
 - ・ 働き方改革として、行事を目的・目標などを見直して、どのように精選していくか、考える必要がある。今年度、高等部の体育祭は午前中だけにした。行事の精選ではなく、中身の精選をする必要があるのではないかと。
 - ・ 働き方改革は教職員の健康改革である。文部科学省でも、夏休みを率先してとるようにとのこともある。教職員の健康面を重視してほしい。
 - ・ 言葉の力が身につくことで、関わり合い、通じ合えるということが大切である。卒業後に向けても大切な力である。
 - ・ PTAコーラスは保護者だけでなく、児童生徒もともに行うとよい。高等部の合唱もすばらしいので、同じ舞台に立って、発表するのがいいのではないかと。
 - ・ 教職員の専門性を高めることも必要であるが、児童生徒に寄り添った指導も行ってほしい。保護者とも対話を行い、保護者や児童生徒のニーズを聞くことも必要である。
- (8) 委員長挨拶
- (9) 学校長挨拶

参加者：江上 林 若松 坪倉 山根 佐々木 井上 中村 丸本 福原 鈴川 岡峰 久保
中尾校長 合田教頭 田中教頭 森澤部主事